



中央中だより

<第3号>



タブレットPCを活用した授業実践です！！

本校では、昨年8月より全生徒分のタブレットPCが整備され、授業での活用が始まりました。今年度は、校内研修において「進んで他者とかかわり、意欲的に学ぶ生徒の育成～ICTを用いた指導法の工夫～」というテーマで研究を進めています。様々な教科で授業実践を行っています。いくつかの教科での実践例をご紹介します。



実践例1 第3学年保健体育科「跳び箱」における授業実践

跳び箱で、「自分の技の様子を撮影し、長所と短所を分析する」というめあてで2人1組になって、今後改善できそうな技を撮影しました。生徒はお互いの技について意見を出し合い意欲的に活動していました。



実践例2 第3学年理科「運動とエネルギー」における授業実践

物体の運動の様子を調べるために、記録タイマーで測定したデータをタブレットPCに入力し、グラフを作成したり、各班のデータをクラス全体で共有し考察につなげました。タブレットPCの「スプレッドシート」という機能を活用しています。生徒は初めて行ったにもかかわらず積極的に取り組んでいました。



夢をもつ <なりたい自分をイメージして、それに向かって努力する>

5月17日の全校集会では、「夢をもつ」という話をしました。以下にご紹介します。

「夢を持つことは、とても大きなことかもしれませんが、別の言い方をすると、なりたい自分をイメージして、それに向かって努力するとも言えます。やみくもに勉強しろ！部活頑張れ！と言われてもそんなにがんばることはできませんが、夢の実現のために努力するのであれば、どんなに困難なことでも立ち向かえると思います。

3年生のみなさんにとっては、これから進路が大きな課題になってくると思います。高校に入学するということが、当面の大きな目標になってくるかもしれません。高校に入学することだけでなく、その先にどんな自分をイメージするか、どんな夢を持てるか、今から少しずつ考えてみてください。」

<文責 谷 滋>